

なんだか最近  
評価が落ちてる  
相談室

最初は高評価だったのに、いつの間にか…。  
悩める女子に識者が、厳しく優しくアドバイス。



大久保佳代子さん

お笑いコンビ、オアシズメンバー。芸能活動の傍ら会社勤務も経験するなど、異色の経歴の持ち主。



小倉 広さん

経営コンサルタント。リクルート勤務後、現職に。著書に『任せてもらう技術』（実業之日本社）など。

今週の樹

会食の幹事を押しつけられた上、  
ダメ出しされて。納得いかない!

お得意様との打ち合わせ後に食事の席を設けることが決まり、その店選びを任されました。正直、仕事がすごく忙しい。なんで私なの…と思いつつ、何とか店を探して予約し、迎えた当日。追加する資料を思いついたので作業をしていたら、先輩と上司にもう出るから早くしろ、とせかされて、結局資料をまとめることはできませんでした。早めに行くのも大事なのですが、打ち合わせなんだから、より良い資料を持っていったほうがいいはずなのに。しかも食事会の後、先輩に料理がイマイチ、だの、書類をひろげるスペースがない、だの、駅から遠い、だのとダメ出しされました。すべての条件を満たす都合のいい店なんてないのに。だいたい、今回は打ち合わせがメインのはず。それなのに店のことばかり気にして、しかも文句ばかり。そもそも店選びなんて、後輩たちの役目なのでは？ 食事会自体は盛り上がったけれど、すっきりしない気持ちです。(31歳・建設)

雑用も真剣にこなせるかを、上司は見ています。

雑用は、ただの下っ端仕事じゃない。その雑用で一流になってこそ、仕事人。

大久保さん 打ち合わせ同様に、先方とのコミュニケーションも大事。そう上司と先輩は考えているのでは。雰囲気に影響する大事な要素だから、きちんと探せる人に店選びを頼んだのではないのでしょうか。そこに気づかずに、ふてくされるばかりではもったいないと思います。

そして、ダメ出しされたあたりですが、やはり上司や先輩たちが求める店の「基準」を、まだあなたがつかめていないことが原因のよう。適正なスペースや、静かき、隣の席との間隔。きつと彼らなりに基準があるのでしよう。でも、そんなことはいちいち指示できないもの。自分で考え、感覚としてつかむしかない。理不尽に感じるかもしれませんが、あなたよりクライアントのことを知っている人たちが言っているのだから、間違っていないはず。それにそのツボがわかれば、完璧な店が見つからなくても、「料理がイマイチだけど広い」「駅から遠いけど、静かで料理もおいしい」など、候補を出して選んでもらうこともできます。宴会の

理想の恋人像とかけ離れてても、付き合ってもいいと思える男と思えない男がいるのと同じだよね…。



幹事は、雑用に見えて、ビジネスの基本である「気配り」が相当に必要。こなせれば、どんな場面でも役に立つはず。

小倉さん 幹事にお使い、コピー取り。一見仕事と関係ないように思える雑用も、実はとても大事です。そうしたことを、自分のことと捉えて一生懸命にできる能力があるかを、上司はちゃんと見ています。反対に、投げやりな人に対しては、「他の仕事も同じように無責任なんだろうな」と判断する。頼まれごとは、試されごと。決して甘く見てはいけません。

この方の悩みを読み、会社員時代、先輩たちから人気があった後輩・Kくんのことを思い出しました。彼は弁当の買い出しを頼まれた時、リクエストされたものがなかったら、他の弁当を自腹で数種類買ってくるんです。で、選んでもらって「残りは欲しい人を探して売る。そのうち「すごいヤツだ」と評判になり、「こいつになら」と、大きな仕事も任せられるようになった。自腹を切ったから可愛がられたんじゃない。気が利いていいヤツだからこそ信頼されたんですよ。彼は今、某会社の社長として頑張ってます。

あなたも、やるなら宴会幹事のプロになりましょう。一流の幹事になれば、もったいなくてもう誰もその仕事をさせたりはしません。

頼まれごとは試されごとと心得よ。

それ、自意識過剰です。

「メイク可愛いね」と上司のただのお世辞に、陰で「セクハラじゃない?」と過剰反応する同僚のB子。めんどくさ。(27歳・医療)

変にプライドが高い先輩。

会議に出す資料をチェックして、と先輩。誤字や脱字を指摘したら、不機嫌に。それなら頼まなきゃいいのに。(28歳・教育関係)

本人に直接言えば?

初めての部下が、問題児ちゃんで困ってます。反りの合わない同僚のグチを長々とメールで送ってくる。だだっ子か! (30歳・IT)

秘密のリサーチに寄せられた「評価できない女」目撃談。あなたのまわりにもこんな人いませんか?!